

滝呂児童センター 事業評価表

※事業区分「1」・・・仕様書事業 「2」・・・自主事業(企画事業)

項目	事業 区分	事業名	実施日	指定回数	年度評価		実施 回数 R2	令和2年度の参加人数					実施 回数 R3	令和3年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価 等
					R2 年度	R3 年度		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計	
乳幼児と保護者を 対象とした事業	1	① 乳幼児クラブ 0歳 ・0歳児クラブ体験会 ・ベビーズクラブ	月2回程度	10回以上	13	13	11	94	0	0	85	179	12	54	0	0	50	104	・コロナ禍においても指定回数の実施に向けて、 日程調整を行った結果、適正回数の実施に至った。 ・0歳児クラブでは、親子間の絆を深めるふれあい遊びや保護者の育児負担及び孤独感を軽減することを目的としたバランスボール講座や同世代の子を持つ保護者同士の交流の場を展開した。
		② 乳幼児クラブ 1歳 ・1歳児クラブ体験会 ・びびよクラブ	月2回程度	10回以上			11	141	0	0	122	263	12	76	0	0	54	130	・1歳児クラブでは運動機能の成長に合わせ、 マットやソフトブロックを用いた家庭で行い難しい運動遊びや季節に合わせた工作遊びを展開した。 ・2歳児クラブではトランポリン、巧技台、室内用鉄棒といった大型の運動器具を用いた活動を中心に展開した。
		③ 乳幼児クラブ 2歳 ・2歳児クラブ体験会 ・さんさんクラブ	月2回程度	10回以上			12	72	0	0	62	134	12	200	0	0	144	344	・0歳児及び1歳児クラブにおいては新型コロナウィルス感染症予防策として集団活動の場を避ける親子の増加や、早期就園が要因となりクラブの参加人数は減少したが、2歳児クラブにおいてはコロナ禍で行き場の無い子に少しでも運動をさせたいと思う保護者の要望に沿った活動を展開した結果、参加人数は増加した。
	小 計						34	307	0	0	269	576	36	330	0	0	248	578	
	2	④ 乳幼児 自主事業 ・親子であそぼう ・パパとあそぼう ・滝っ子お話し	適宜	—	15	15	53	288	29	2	248	567	53	287	69	0	217	573	・新型コロナウイルス感染症予防策を講じたうえで、 幼児親子を対象に様々な遊びに場を提供した。 ・親子であそぼうでエアートランポリンや新聞紙あそび、プラレール遊びといった家庭で体験し 難い遊びの場を展開した。 ・パパと遊ぼうは親子であそぼうと同内容の活動を日曜日に展開することで父親の育児参加を促した。 ・滝っ子お話しでは絵本の読み聞かせを展開した。
小 計						53	288	29	2	248	567	53	287	69	0	217	573		

※事業区分「1」…仕様書事業「2」…自主事業(企画事業)

項目	事業 区分	事業名	実施日	指定回数	年度評価		実施 回数 R2	令和2年度の参加人数					実施 回数 R3	令和3年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価 等
					R2 年度	R3 年度		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計	
児童を 対象とし た事業	1	①一輪車クラブ ・初級 ・中、上級	月2回程度	6回以上	13	14	10	0	133	0	0	133	24	9	188	3	16	216	・児童から一輪車クラブ及び子どもスタッフクラブの実施回数を増加するよう多くの要望受けたため、自主事業で実施可能なクラフトクラブを廃止し、実施回数の増加を図った結果、実施回数及び参加人数は増加した。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により活動発表の場が減少する中、参加意欲の低下を防ぐ為、動画をういて保護者及び高齢者に発表することを提案した。一輪車クラブでは個人練習の様子や集団演技の様子を撮影し、子どもスタッフクラブでは児童と協議し「劇：ももたろう」の撮影を行った。新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い中止となる回もあり、発表には至らなかったが初めての試みに児童は積極的に活動に取り組んだ。 ・児童に対して奉仕活動の場の提供を目的とし、コロナ禍で実施可能な複合館の特性を活かした奉仕活動を職員間で協議し、令和2年度に自粛していた児童の参加意欲の高いデイサービス及び老人センターの壁面制作を再開。さらには児童の自主性を尊重し清掃及び点検活動を展開した結果、実施回数及び参加人数は増加した。
		子どもスタッフクラブ (旧ボラキッズクラブ)	月1回程度	6回以上			6	0	65	0	0	65	12	4	119	0	4	127	
		クラフトクラブ ※令和3年度から廃止	月1回程度	6回以上			6	0	87	0	0	87	/	/	/	/	/	/	
		② ボランティア活動 ・子どもボランティア 施設内壁面制作 施設内外清掃活動 畑作り 高齢者への奉仕活動 色鉛筆点検	月1回程度	随時			10	2	38	0	2	42	11	0	57	0	0	57	
	小 計			/	/	/	32	2	323	0	2	327	47	13	364	3	20	400	
	2	③ 児童 自主事業 ・ぬりえであそぼう ・防犯のお話 ・トランポリン ・チャレンジ番付 ・季節工作 (母・父の日プレゼント作り、うちわづくり、スライムづくり 等)	適宜	—	13	14	22	30	172	0	26	228	36	89	452	6	78	625	・新型コロナウイルス感染症予防の観点より、ガサガサ探検、デイキャンプといった多数の参加者を募る事業においては中止した。 ・既存事業であるチャレンジ番付、トランポリン、ぬりえ遊び等の自主事業の実施回数の増加に加え、児童を対象とした工作遊びを季節毎に企画し実施した結果、実施回数及び参加人数は増加した。
小 計			/	/	/	22	30	172	0	26	228	36	89	452	6	78	625		

※事業区分「1」…仕様書事業 「2」…自主事業(企画事業)

項目	事業 区分	事業名	実施日	指定回数	年度評価		実施 回数 R2	令和2年度の参加人数					実施 回数 R3	令和3年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価 等
					R2 年度	R3 年度		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計	
地域・多世代間交流事業	1	① 児童館まつり ・サンホーム滝呂春の活動発表会 (中止)	年1回	1回以上	13	14	1	55	69	0	333	457	0	0	0	0	0	0	・新型コロナウイルス感染症の拡大状況を考慮したうえで、企画したが中止となり、実施に至らなかった。
		② 移動児童館 ・滝呂プラプラまつり	年3回	地域事情に 応じて			0	0	0	0	0	0	1	49	99	2	98	248	・地域及び他団体と連携し新たな移動児童センターの場の拡充に努めた結果、滝呂地域力向上実行委員会主催「滝呂プラプラまつり」内で、コロナ禍でも地域内外の親子が楽しむことの出来る場の提供及び児童センターのPRを目的とした移動児童センターの実施に繋がった。 ・幅広い世代が楽しむことの出来る「お菓子すくい」を展開した。他の地域主催の行事が新型コロナウイルス感染症の影響により中止となっているため実施回数は1回となった。
	小 計						1	55	69	0	333	457	1	49	99	2	98	248	
	2	③ 地域・多世代 自主事業 ・七夕週間 ・幸せみくじを引こう！ ・サンホーム杯 ・新春書初め作品展 ・秋の作品展 ・花餅作り	適宜	—	13	13	4	34	104	15	1744	1897	8	65	229	8	1138	1440	・新型コロナウイルス感染症予防を最優先としながら、コロナ禍において実施可能な多世代交流事業の実施に向けて施設内職員間で協議した結果、令和2年度と比較し実施回数は増加した。 ・密を回避しながらサンホーム滝呂共有スペースにて各世代の利用者が制作したぬり絵や書き初めといった作品を通じて交流を深める作品展形式の活動の他に、同内容の競技を別の場で行い、記録を競い合うサンホーム杯等の「間接的交流事業」を8回実施した。 ・新型コロナウイルス感染症予防策として人数制限を設けたことが大きな要因となり、参加人数は減少した。
							4	34	104	15	1744	1897	8	65	229	8	1138	1440	

※事業区分「1」…仕様書事業 「2」…自主事業(企画事業)

項目	事業区分	事業名	実施日	指定回数	年度評価		実施回数 R2	令和2年度の参加人数					実施回数 R3	令和3年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価 等
					R2 年度	R3 年度		乳幼児	小学生	中学生	大人	合計		乳幼児	小学生	中学生	大人	合計	
中高生事業	1	① 中高生ボランティア ・奉仕活動の場の提供	適宜	3回以上	13	13	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	・新型コロナウイルス感染症予防の観点より、多治見中学校「輝き隊」のボランティアの招集は1年を通じて見合わせた。 ・自主的にボランティア活動を行いたいと来館した生徒に対し、来館状況に応じて幼児及び児童の見守り、壁面制作、事業事前準備、片付けといった活躍の場を提供し、令和3年度は当センターより10名の生徒に活動証明書を発行し付与した。
	小 計						0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	
	2	② 中高生 自主事業 ・中高生スポチャレ バドミントン(6月)	適宜	—	13	13	2	0	5	11	0	16	1	0	3	1	0	4	・毎月1回程度、中高生の居場所作り及び児童と生徒の異学年交流を目的とした運動遊びの場を企画した。・新型コロナウイルス感染症予防の影響で、当日の参加は少数であった。 ・1年を通じて実施した回数は1回であるが、一般来館生徒に向けてバレーボールやバドミントン等の運動遊びを促し、更に児童と共に行うことが出来る環境づくりに努めた結果、事業の目的は果たすことが出来た。
	小 計						2	0	5	11	0	16	1	0	3	1	0	4	

※事業区分「1」…仕様書事業「2」…自主事業(企画事業)

項目	事業区分	事業名	実施日	指定回数	年度評価		実施回数 R2	令和2年度の参加人数					実施回数 R3	令和3年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価 等
					R2 年度	R3 年度		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計	
子育てネットワークづくりの推進	1	① 相談事業 ・子育て相談日	月1回	月1回以上			1	0	0	0	0	0	4	1	0	0	1	2	・新型コロナウイルス感染症拡大状況に応じて相談日を設置した結果、1年を通じて実施は4回となった。 ・当センターが「身近な相談場所」であることを毎月発行する広報やホームページに記載し、育児や学校生活において抱える不安を軽減する場であることを周知した結果、令和3年度は63件の相談を受けた。その内関係機関に繋げた事案は0件であった。
		② 講習・講演・他連携 ・5館合同動画交流会(中止) ・赤い羽根共同募金配分金事業(中止) ・歳末助け合い募金配分金事業(中止)	年3回	2回以上	13	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	・コロナ禍での事業実施に向けて他館と協議し、動画を用いた交流事業「5館合同動画交流会」を企画した。新型コロナウイルス感染症の影響により動画撮影が行えない館もあり中止としたが、当センターは一部動画撮影が行えたため、編集し来館者に向けて視聴の機会を設けた。
		③ 母親クラブ ・総会及び親睦会 「お花見さんぽ」 ・講習会 「サンドアート講座、虫よけスプレー作り、消毒作業、バランスボール講座、カレンダー作り」 ・お楽しみ会 「子スタ共催縁日、クリスマス会」 ・安全活動 「防災訓練」	適宜	随時			9	74	30	0	83	187	8	56	45	0	60	161	・新型コロナウイルス感染症予防に伴う自粛により、母親が抱える孤独感の軽減を目的に代表者と実施可能な事業を協議し、講習会、親睦会、お楽しみ会等幅広い活動を展開した。 ・共催で非会員の参加も可能な事業を展開した結果、コロナ禍においても新規加入者があり、母親クラブの活動補助である児童センターの役割を果たすことが出来た。 ・新型コロナウイルス感染症拡大に伴う活動の中止、事業の縮小化が要因となり実施回数及び参加人数は減少した。
	小 計						10	74	30	0	83	187	12	57	45	0	61	163	
	2	④ 子育て 自主事業 ・YYスマイルサロン ・なないろひろば	月1回程度	—	13	13	10	22	15	14	67	118	8	5	14	5	59	83	・YYスマイルサロンでは、障がいを持つ子とその保護者が安心安全に過ごすことができるよう見守りを行いながら、大型遊具を用いた運動遊びや季節工作遊びの場を展開した。 ・なないろひろばでは、新型コロナウイルス感染症が要因となり、参加者不在の回が多くあり、1年を通じて実施は1回であった。
小 計							10	22	15	14	67	118	8	5	14	5	59	83	

(留意事項) ※「区分欄」は、指定管理者の協定書・仕様書で定められた事業は「1」、協定書等がない自主事業は「2」を記入。

「年度評価欄」は、次の内容で記入。 1: 取消等を検討、2: 不備が目立つ、3: 若干不備あり、4: 良好、5: 期待以上